

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス にこふるポップ		
○保護者評価実施期間	R7年11月1日		R7年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 38世帯
○従業者評価実施期間	R7年9月1日		R7年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年12月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行事内容が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をもとに、ご家族の希望を取り入れ提供できています。 児童の流行に合わせて提供しています。 将来の余暇活動の選択肢増加や、生活スキルのレベルアップを意識して計画しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童の成長段階に必要な能力、将来の就職・就労に必要な能力に合わせて行事内容をより深く考えていきたいと思えます。
2	法令基準スペースよりも広いスペースの確保ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 広さを利用し運動活動のプログラムを幅広く提供できています。 健康的な体作り、心地良い疲労感の獲得、体力向上、体幹強化、力加減トレーニングをメインにその他、スポーツを通してのコミュニケーション能力向上やルールを守る大切さや守る事での楽しさが理解できるように支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修、職員間の情報共有の強化を更に行い、新しい支援方法の提供や年齢、特性、目標に合わせて支援方法を考え利用児童により良い支援提供ができるように考えていきます。 ご家族様にも報告し家庭での変化も確認してまいります。
3	児童に合わせて個別で支援プログラムを作成し実行できている。	<ul style="list-style-type: none"> 将来の就労先、年齢、課題、など踏まえて日々できています。 児童により、SSTや視覚支援も交え効果を上げる事ができています。 	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の不足。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様限定のSNSを日々の様子の発信や災害時の連絡手段の1つとして採用しているが全保護者様へ登録状況が進まない。 アンケート結果など掲載しているホームページの存在を知らない保護者様もいる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに掲載した際SNSを使用している保護者様への報告をおこなう。 緊急時、災害時に事業所からの連絡方法としてSNSを使う場合があるためSNSの登録をして頂けるようにご協力を仰ぐ。
2	日々の様子などの情報共有する面談機会やご家族、きょうだいも参加できる行事、研修会を実施してほしいと声があがっている。	<ul style="list-style-type: none"> 随時、保護者様には面談を行っているが、周知されていないように感じる。上記1の情報発信不足にも繋がっているように考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 随時、ご希望の保護者様に対して個別に面談をおこなう。 次年度、保護者様が参加できる研修会、行事を実施する。 面談機会があることの周知をおこなう。
3			

アンケート結果



利用児童数

51名

回収数 38世帯

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	2		1		<ul style="list-style-type: none"> ・丁度よく、一人になれるスペースもあり、クールダウンによいようです。 ・毎日楽しくのびのび過ごさせているようです。 ・よく鬼ごっこをしているようですが、あのスペースでできているか疑問です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習・工作区画」、「おもちゃ遊び区画」、「運動区画」と大まかに分けてあります。運動区画を一番広く取り、別の活動をしている子が干渉しないように配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1		3			<ul style="list-style-type: none"> ・一日児童10～15名の利用人数で管理者含め3～4名職員の配置が必要なところ、日々5～6名で対応させていただいています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36			1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37			1			
適切な支援の	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	38						
	8	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	1					
	9	放課後等ディサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38						

提供	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34			4		・利用しているお子様に合わせてプログラムを作成しています。 ・お子様の目標、特性、性格、こだわりに配慮し、長期的に同じ内容を提供する方、毎日違う内容を提供する方がいます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19	5	2	12		・土曜日、長期休暇時に児童センターや公園に出掛け、地域の子ども達と交流する機会を設けています。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37				1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	1			3		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	8	3	15	1	・次年度、6~7月頃に保護者様が参加できる研修会を開催する予定です。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	35	1	1		1	・連絡ノートや送迎の時に話していただき、様子が分かりやすいです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	7	1	2	1	・ご希望の場合はご連絡ください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	9	1	21	1	・開催されているか分かりませんが、機会があれば参加してみたいと思います。	・項目14の研修会の後に保護者会を開催する予定でありますので、是非ご参加ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1		4	1	・対応しますのでいつでもご相談ください。	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37				1			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	37				1	・イベント時にLINEで活動内容を知らせてくださるので良いと思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	1			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34			3	1		・年に3回火災、地震、水害の避難訓練を行っています。日々のポップ通信と別に避難訓練の様子を配信しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32			6		・定期的に訓練が行われているかよくわかりません。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35			3			・安全計画をホームページにて記載しておりますので、ご覧ください。また、施設点検も行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34			4		・自分の子がまだ事故や怪我がないため、どのように連絡、説明されているか分かりません。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	1					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38					・毎回楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	38						

☆ ご意見・ご要望・取り入れてほしいイベントなどございましたらご記入ください。

※下記のご意見は個人を特定できる可能性のあるご意見は文章の一部を変更して記載しています。

また、要約した文章も記載していますのでご了承頂きたいです。

・日頃の様子や課題などのすり合わせをおこなっていただきたいと思います。

ポップ⇒面談をご希望の場合は随時日程を調整させていただきますので、ご相談ください。

・子供の活動の様子を見学する機会があっても良いと思います。

ポップ⇒今後、検討いたしますので開催の際は是非ご参加ください。

・逃走中を楽しみにしています。また企画をお願いします。

ポップ⇒ご提案ありがとうございます。また企画させていただこうと思います。

・ペアレントトレーニング、父母会に活動の支援、保護者同士の交流の機会を取り入れてほしい。

ポップ⇒保護者様が参加できる研修会を6～7月の土曜日に開催を予定しております。詳細が決まり次第お知らせさせていただきます。

・長期休みには、お出掛けもあり楽しく過ごさせてもらっています。

ポップ⇒ありがとうございます。私たちとしても放課後とは違う一面が見ることができるので安全第一に今後も継続したいと考えています。

・家で一人でお留守番のスキルアップトレーニングの一つで鍵の開閉の確認のご提案ありがとうございます。

ポップ⇒自立に繋がる支援を引き続き提案させていただきます。

- ・「これができると自立につながりやすい」などあったら教えてほしいです。

ポップ⇒日々の送迎時や面談の際に年齢、特性、性格、ご本人、ご家族の希望に合わせてご提案させていただきます。

- ・ポップのおやつを選べるスタイルが好きで子どもは楽しくていいですね。

ポップ⇒生活のスキルアップの一環で選択能力と金銭管理能力のアップを目的として行っています。

- ・希望の土曜日に入れなかった際、代案を出していただきありがとうございました。

ポップ⇒一つの行事へ希望の集中、職員の人員配置、安全面への配慮などがあり、ご希望の土曜日にご対応できず申し訳ございません。

- ・女子限定になってしまうかもしれませんが、メイク講座など行事に取り入れてほしいです。

ポップ⇒学校の校則としてメイクは禁止されていますので、行事としては取り入れられません。ご了承ください。

《アンケートに関するもの》

- ・30問アンケートがづらい。Googleフォームなどの回答だと助かります。

ポップ⇒アンケート項目につきましては、国で指定された問であるため変更が難しいです。Googleフォームの利用に関しては今後検討させていただきます。

・アンケートが大変で「はい」「いいえ」の2択の項目になったらありがたいです。ご意見欄は書きたい人が書く形にしたいです。

ポップ⇒現在公表する様式が4択でこの形となっているので、お手数をお掛けします。ご意見に関しては、なければ未記入でも構いません。

その他、暖かいお言葉も沢山頂きましたが、個人の特定に繋がる可能性も踏まえこの度、記載は省略させていただきます。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

今後もお子様、保護者の皆様にご満足いただけるよう、努めてまいります。引き続き、よろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 11月 1日			
放課後等デイサービス にこふるポップ					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法令で必要をされる配置をしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		運動向上や自由な想像力を育むことが出来るような設備を取り入れています。また障害の特性に応じてバリアフリー等環境に配慮しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		職員による出勤時の清掃と生活スキルアップを目標とした児童の清掃をおこなっています。学習スペース、運動スペース、おもちゃスペースと分けて活動できるように配慮しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別学習スペース・着替え部屋の2部屋を必要に応じて使用可能となっています。児童の特性に合わせてクールダウンや悩み相談スペースとして使用しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		業務は分担制としており、各担当者が目標設定を行っております。毎朝及び、月に一度の定例会議を実施しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様への満足度アンケートを実施し、業務改善につなげています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々職員の意見を聞き、職員間で検討し改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	現在実施の予定はありませんが、必要に応じて実施を検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		入職後、オリエンテーションを実施し、その後も全指導員に内部・外部研修を、継続的にしております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		当社ホームページにて公開しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		計画期間ごとにアセスメントをおこない、支援計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎月の定例会議の際に話し合いの時間を設け、共通理解のもとで支援を行っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインをもとに、アセスメントを踏まえて課題を分析し、お子様一人ひとりに合わせた支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		お子様の事例を共有・議論するケース会議を実施しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		お子さま一人ひとりの個性、その時の興味、成長過程に合わせたプログラムを追求しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		アセスメントを基に、課題を分析し個別支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	毎日、朝礼・終礼を実施し職員間での情報共有をおこなっております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎回支援記録をとり、定期的に振り返りをします。お子さまの成長や環境の変化に合わせて支援方法の見直しをしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		基本は6か月に1度モニタリングをおこない、服薬、成長、家庭・学校環境などに配慮して見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		「4つの基本活動」を複数組み合わせ、お子さまが主体性を発揮できるよう支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		様々な体験を提供し、自発的に適切な行動が取れ、自信につながる体験を提供することを心掛けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		日々、児童発達管理責任者がお子さまの支援に入り、状況の把握に努めるとともに、支援記録を基に指導員と課題分析した後、参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	あらかじめ近隣の協力医療機関を定めております。また、必要に応じて学校等の関係機関との連携を図る機会も設けております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		下校時に、学校での様子・支援方法に関して情報交換をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	就学前に、保育園の訪問、発達支援事業所と情報共有をおこなっております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	相談支援事業所等の関係機関に、情報提供できる体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		今後、児童発達センターとの連携を図る機会を設けていきたいと検討しております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	連絡調整し、児童館で過ごす機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		定期的に開催される、「自立支援児童部会」に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎回の支援終了後または、連絡帳にて一日の「振り返り連絡」をいたしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	支援後の「振り返り連絡」の際、家庭での対応方法についてアドバイスしています。また、指導員がペアレント・トレーニングの知識を習得できるよう、研修を行っております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要事項を掲示しています。具体的な支援の内容については、支援計画書の提示面談時に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		送迎時などの弛緩を利用して意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		アセスメントを基に、課題を分析し個別支援計画を作成しています。都度文面と口頭での説明をおこない、同意を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		日々、必要に応じて、お時間を頂き面談をおこなっております。ご自宅での支援方法の助言や事業所内での支援方法の話し合い実行しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3		グループでの情報共有会等を実施したいと検討しております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		事業所に受付解決責任者を選任し、苦情受付体制を整えています。いただいた苦情に対しては、社内で検討会議をおこない、全指導員に周知し、迅速かつ適切な対応を心掛けております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		書面にて毎月行事予定の発行と3か月おきに行事の様子を発行しています。SNSでは毎週行事の様子を配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末は、パスワードを設定し情報の漏洩防止に努めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子さま・保護者様の状態に応じて、視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達を実施しております。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	ホームページにて事業所の活動を発信しています。また敷地内にある同法人の事業所によるイベント開催により地域住民の方々に参加できるようになっております。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間の事業計画に基づき、定期的に訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認しています。その後は連絡帳又は電話連絡にて状態の変化があった際に保護者様と取り合っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		すべてのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、支援時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、ホームページにて公開しています。職員に研修を行い、安全管理に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		ホームページにて公開することでご家族様に周知していただいております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様には、契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載しています。	